

自動喪失の国			非自動喪失の国									
			国籍放棄可能						国籍放棄不可能			
A	B		A	B		A	B		A	B		
		アンドラ			アフガニスタン			ドイツ ※6	批准	ペルー		アルゼンチン ※7
	批准	オーストリア ※1		批准	アルバニア			ギリシア		フィリピン		コスタリカ
		バングラデシュ			アルジェリア			グレナダ		ポーランド	批准	ドミニカ共和国
		ブータン			アンゴラ			ギニアビサウ		ポルトガル		エクアドル ※8
		ボツワナ			アンティグア・バーブーダ			ガイアナ		ルーマニア	批准	エリトリア
		ブルネイ			アルメニア			ハンガリー	批准	ロシア		ガテマラ
		カメルーン		批准	オーストラリア			アイスランド	批准	ルワンダ		ハイチ
		中央アフリカ共和国			アゼルバイジャン			イラン		セントキッツ・ネイビス		ホンジュラス
		中国			バハマ			イラク		セントルシア		メキシコ
	批准	コンゴ民主共和国			バーレーン			アイルランド		セントビンセント及びグレナダ		モロッコ
		コートジボアール			バルバドス			イスラエル		サモア		ニカラグア
		キューバ			ベラルーシ			イタリア		サンマリノ		ニジェール
		赤道ギニア		批准	ベルギー			ジャマイカ		サントメプリンシペ		パナマ
		エストニア			ベリーズ			ヨルダン		サウジアラビア		カタール
		エチオピア			ベニン			ケニア		セルビア		トンガ
		ギニア			ボリビア			キリバス	批准	セイシェル		チュニジア
	批准	インド ※2		批准	ボスニア・ヘルツェゴビナ			キルギスタン		シエラレオネ		ウルグアイ
		インドネシア		批准	ブラジル			ラオス		シンガポール		バチカン
		日本		批准	ブルガリア			ラトビア		スロベニア		イエメン
		カザフスタン			ブルキナファソ			レバノン		ソロモン諸島		
		クエート			ブルンジ			レソト	批准	ソマリア		
	批准	リベリア			カンボジア			リヒテンシュタイン		南スーダン		
		リビア		※5	カナダ			ルクセンブルグ	批准	スーダン		
		リトアニア			カボベルデ			マケドニア	批准	スワジランド	批准	
		マダガスカル			チャド			マラウイ		スウェーデン	批准	批准
		モーリタニア			チリ			マレーシア		スイス		
	批准	モナコ			コロンビア			モルジブ		シリア		
	批准	ミャンマー			コモロ			マリ		台湾		
		ネパール			コンゴ共和国			マルタ	批准	タジキスタン		
	批准	オランダ ※3	批准		クオアチア			マーシャル諸島共和国		東チモール		
		北朝鮮			キプロス	批准		モーリシャス	批准	トーゴ		
	批准	パキスタン			チェコ共和国		批准	ミクロネシア		トルコ		
		パプアニューギニア			デンマーク		批准	モルドバ		トルクメニスタン		
		セネガル			ジブチ			モンゴル		ツバル		
		スロバキア		批准	ドミニカ			モンテネグロ	批准	ウガンダ		
		南アフリカ			エジプト			モザンビーク		ウクライナ		批准
		韓国			エルサルバドル			ナミビア		イギリス	批准	
	※4	スペイン ※4		批准	フィジー			ナウル		米国		
		スリランカ			フィンランド		批准	ニュージーランド		ウズベキスタン		
		スリナム			フランス			ナイジェリア		バヌアツ		
		タンザニア			ガボン			ノルウェー	批准	批准	ベネズエラ	
		タイ			ガンビア			オマーン		ベトナム		
		トリニダードトバゴ			ジョージア			パラオ		ザンビア		
		UAE			ガーナ			パラグアイ		ジンバブエ	批准	

※1 オーストリア（事前の「国籍保持の承認」による例外規定があり、帰化する前に申請し、「国の利益」になるか、「私生活および家族生活において特に国籍を保持するに値する事由がある」と判断されれば、また、未成年者は子どもの最善の利益のために、他国に帰化しても、オーストリア国籍の保持を認めている。）
 ※2 インド 他国の国籍を取得してインド国籍がなくなっても「海外インド市民権」「Overseas Citizenship of India」(OCI)を取得して在外インド国民とほぼ同様の恩恵を受けることができるほか、OCI保持者のインド国籍再取得の特例がある。
 ※3 オランダ（例外：他の国籍の国で生まれた場合（他の国籍を取得する際には、その国に住んでいる必要がある）。他の国籍の国で18歳になる前に5年以上連続して居住したことがある場合。他の国籍の人と結婚している場合。）
 ※4 スペイン（例外：イベロアメリカの国、インドラ、フィリピン、赤道ギニア、ポルトガルの国籍を取得しても、出生によるスペイン国籍を自動的に喪失しない。相手国と戦争になってもスペイン国籍は喪失しない。さらに、2003年からは、二重国籍者は、外国籍を取得した瞬間から3年以内にスペイン国籍を保持する旨の意思表示をすることで、スペイン国籍の喪失を回避できるようになった。また、市民登録所でスペイン国籍を申告することで、国籍の喪失を防ぐことができる。）
 ※5 カナダ 国籍法抵触条約を1996年に脱退。 ※6 ドイツ 2024年1月、市民権法改正が議会で可決され、非自動喪失の国になった（従前も自動喪失の例外はあった。）
 ※7 アルゼンチン（例外：アルゼンチンへの帰化者） ※8 エクアドル（例外：エクアドルへの帰化者）